

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	緊急通報システム設置事業			事業コード	0418
担当課等	所属名	保健福祉部 高齢者支援室	担当係名		
	課長名	渡邊 光市	担当者名	保健福祉部 高齢者支援室 深田真由子	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード 4
	基本事業	高齢者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 3目 緊急通報システム設置事業 (005-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 元年度～)					
事務事業の概要	ひとり暮らしの重度身体障害者宅に緊急通報装置を設置し、緊急時の対応と安否確認によって日常生活の不安解消を図る。					
根拠法令等	盛岡市ひとり暮らし重度身体障害者等緊急通報サービス事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成元年より、ひとり暮らし高齢者及びひとり暮らし重度身体障害者の在宅生活の安全確保を目的に開始された。その後、ひとり暮らし高齢者については、地域包括支援センター等とともに見守り体制をより強化することを目指し、平成22年度より地域支援事業の任意事業にて支援している。そのため、現在当該事業は、ひとり暮らし重度身体障害者を支援する事業となっている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
利用者から、当事業により安心した生活を送ることができるとの声が聞かれる。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
障がいの状態は利用者により多様であり、ケースに応じた個別対応が求められるようになっている。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	おおむね65歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. システム設置者数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 通報受信業務を委託し、ひとり暮らし高齢者等の急病等の緊急時に、迅速かつ適切な対応を行った。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  通報受信業務を委託し、急病等の緊急時に、迅速かつ適切な対応を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 安否確認件数(毎月実施)	単位	件
				B. 緊急通報件数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	ひとり暮らし高齢者等の在宅生活での安全を確保する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 緊急通報により搬送された件数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	件
				B. 緊急通報対応件数/システム設置者総数×100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	日常生活を安心して不便なく送ることができる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	相談などを受けている高齢者数(単位:人) 介護予防事業参加者数(単位:人) 介護保険サービス利用者数(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	システム設置者数	人	56	48	60	2	2	2	24年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	安否確認件数(毎月実施)	件	2,201	10,255	12,000	57	72	72	24年度
活動 指標B	緊急通報件数	件	11,860	2,600	2,600	0	12	12	24年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	緊急通報により搬送された件数	件	83	42	70	0	12	12	24年度
成果 指標B	緊急通報対応件数/システム設置者総数×100	%	10.29	5.74	9	0	2	2	24年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	9,076	8,619	10,459	94	159	159	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	9,076	8,619	10,459	94	159	159	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	9,076	8,619	10,459	94	159	159	*****
延べ業務時間数		時間		300	300	3	3	3	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	0	1,200	1,200	12	12	12	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,076	9,819	11,659	106	171	171	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: ひとり暮らし重度身体障害者を対象に、緊急時における迅速かつ適切な対応と、日常生活の安心確保を行うことができる点から結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 地域の近隣関係の希薄化が進む中、地域で自立した生活を維持できるようにするために、当該事業の継続は欠かせないものである。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 急な体調不良を起こす恐れがあり、緊急時に支援を求めることが難しい市民を対象としているため、現状維持が妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 緊急時の体制確保ができていないため、現状で妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 利用者を取り巻く機関との連絡調整をより綿密にすることで、利用者の在宅生活を支援する体制がより整うと思われる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 体調不良等の緊急時に対応できなくなるほか、日々不安を抱えながら生活することとなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 民間企業による同様のサービス ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 利用料金が高く、低所得者は利用できない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在事業費は委託料のみであり、市が自由に料金設定することは困難である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状で、必要最低限の時間である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 対象者を明確に定めており、市民に公平・公正に機会を提供している。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 課税状況により利用料の有無が決まっている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 利用申請時のみならず、定期的に当該利用者を支援している者を把握し、利用者台帳に反映していくことで、利用者を支援する体制の構築に努め、在宅生活の安心につなげていく。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり : ② 有効性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり : ③ 効率性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり : ④ 公平性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 高齢者及び障害者にとって、安全安心な日常生活を送るためには欠かせない事業となっている。 高齢者を対象とした緊急通報システム設置事業は、平成22年度から地域支援事業の中で継続実施している。 重度身体障害者を対象とした緊急通報システム設置事業は、平成23年度から障がい福祉所管課において継続実施する。										
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
方向付けの理由と改革改善の内容 重度身体障害者を対象とした緊急通報システム設置事業は、平成23年度から障がい福祉担当課において継続実施する。 高齢者を対象とした緊急通報システム設置事業は、平成22年度から高齢者支援室の地域支援事業の中で継続実施している。												